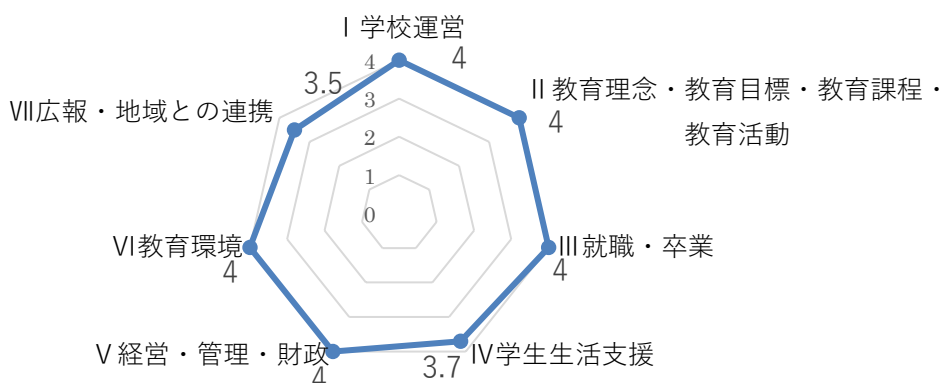


自己点検・自己評価結果の客観性と透明性を高めて学校運営の改善を図るために、看護・教育等に指揮権や経験を有する学識経験者の「学校関係者評価委員」の方々に、内容を評価していただきました。

学校関係者評価委員としてご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今回の評価結果を受けて今後も改善を図り、本校教育の充実を進め、地域社会に貢献できる看護職の養成に努めてまいります。令和5年3月29日

学校関係者評価 委員長 黒川 順子（滋賀県済生会看護専門学校 前副校長）
 委員 槌田 洋子（岡山済生会看護専門学校 同窓会会長）
 三上 由美（岡山済生会総合病院 看護部長）
 伊達 千華（岡山済生会看護専門学校 令和3年度卒業生）

自己点検自己評価 7領域32項目の結果 評価基準 満たしている 4 改善すべきである 1



カテゴリー	評価点	概要
I 学校運営	4.0	すべてのカテゴリーで自己評価を支持。 ・組織目標を策定し、年2回の評価を行いながら全職員で目標達成に向けた活動ができていた。課題等に関しては随時検討し、問題解決に取り組んでいた。学校だけでなく、岡山県済生会の施設間・職員間で連携しチーム力を発揮した取り組みが行えていた。
II 教育理念・目標・教育課程・教育活動	4.0	・教育活動の評価を行い、実施結果や学生の反応を踏まえて、授業の見直し改善に努めていた。新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら、実習施設の協力を得て、実習場所や実習時期を変更しながら安全に実習が行える学習環境を整えていた。
III 卒業・就職	4.0	・令和4年度も看護師国家試験に全員合格することができた。卒業後のホームカミングデイは、卒業生の希望により年2回行うなど、卒業生の支援が充実していた。
IV 学生生活支援	3.7	・精神的側面からの学業継続支援体制が整い、効果的に活用していた。新型コロナウイルス感染症の影響による経済的に困難な学生等に対する支援が受けられるよう随時情報提供して対応していた。
V 経営・管理・財政	4.0	・年間計画に基づき計画的に予算・事業執行を行っていた。学生の意見や要望を反映し、可能な範囲での改善や説明を行い、学生が理解し満足できるよう努めていた。
VI 教育環境	4.0	・令和4年度から電子テキストを導入。また、グループウェアの導入により、学生への連絡や情報共有、遠隔授業などが一元化できており、今後も機能を活かし有効に活用してほしい。教員の教育実践力を高める取り組みとして、教員の研修や授業研究を充実させることができていた。
VII 広報・地域との連携	3.5	・母体病院と連携し地域活動等の参加を行っているが、コロナ禍で令和4年度も活動が中止となり実施できないことがあった。今後も地域のニーズにあわせた活動をし、帰属意識が定着できる取り組みを期待する。